

地域で違う水道水

東久留米市立南中学校

一年四組 松浦 詩汰

僕にとって水道水は生活には欠かせない身近なものです。毎日学校や部活に持っていく麦茶を作るために使ったり、味噌汁やお米をたく時などに使っています。また、お風呂や手洗いなど僕たちにとっては欠かせない大切なものです。

僕は、夏休みに北海道と石川県に旅行へ行

きました。そこで僕はそれぞれの地域の水道

について調べることにしました。

北海道では地下水を使用する地域があるこ

とを知りました。僕のおばあちゃんの家があ

る士別市も地下水を使用して、僕の家の水

水道水と比較してみると、士別市の水道水の

方がものすごく冷たく、おいしく、びく

しかったです。母は北海道に住んでいた時、水

を買ったことがなく、東京に来て、水が売って

いてびっくりしたそうです。地下水とは、雨

No.

No.

が地表面から地中に浸透して土の中の隙間の
 部分に存在する水のこゝです。いつも僕が北
 海道に行く時に利用している旭川空港の近
 くの東川町では特に地下水がおいしいと有
 な地域です。そこでは雪解け水が使用され
 いて、北海道で最も高い山である大雪山に畜
 えられている雪がとけ、地中深く染み込み、
 東川町に運ばれているそうです。流れてきた
 地下水は東川町で暮らす人々が家庭用ホム
 ポンプでくみ上げ、細菌処理などを一切せず
 生水のまま飲用され、生活水として使用され
 ています。東川町の地下水の中でも、大雪旭
 岳源水と呼ばれる水があり、最上級の水で平
 成の名水百選に選ばれています。ミネラルが
 豊富にバランスよく含まれ、またマカネシウ
 ムの含有比率が理想である2対1に近い水だ
 そうです。そこで僕が大雪旭岳源水を飲み
 行つてみたところ、ものすごくおいしくて、
 「こんなにおいしい水があるのか」と思ひ
 ました。

ます。

石川では家の水道水を飲んでみたところ、北海道の水とは、また違う味でした。北海道の水は、すごく冷たく、少し甘く、石川の方と比べると少し硬く、すごくおいしいと感じました。北海道とは違う作り方で、僕は遊びに行、た中能登町では浄水場で作られていて、その地域の水源の約9割が地下水でまかなわれており、カルシウムやマグネシウム等の硬度成分が多く含まれているそうで大変優良な水質なので、おいしい水であると感じています。

そこで、北海道と石川県の2つの地域の水と水道水と比べてみると、水道水の硬度や作り方が全然違うことが分かりました。地域で作られる方が、違いのため味や温度、硬度など全く違います。なので僕は色々な地域の水道水を飲み比べてみたりと思いました。どの地域の水道水も色々な良さがあり、おいしいです。自分たちのものに安全でおいしい水道水を届けてくれていることに感謝をしていきたいです。

No.

No.

最後に僕たちが住んでいるこの東久留米市では硬度が低く、クセがないコクのあるまろやかな水だそうです。その理由はミネラルが適度に含まれていたり、カルシウム、マグネシウム、含有量のバランス良いためです。東久留米市の水と比べて、2つの地域は、それぞれ水質などは様々で味も作り方も違う。だからその水道水を作ったり、運んだりしてくれている事はどの地域も同じで、安心安全な水を届けてくれている事に感謝し、これがら大切に水道水を利用していきたいと思っました。